

機器選定におけるポイント

デジタル（ビデオ）カメラ

	機器選定のポイント	想定される問題点	機器選定において配慮すべき機能
1	操作性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒にとって操作が難しいと、使い方を説明することに時間がかかってしまう。 ●一度使って、使いにくいと判断されると稼働率が低くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の小さい手でも持ちやすい形かどうか。 ○英語や難しい言葉で操作が記述されている場合は、わかりにくい場合がある。 ○絵や写真などで記述されていると分かりやすい。 ○耐衝撃性の高いもの、水中撮影ができるものなど用途によって様々な種類があるので、比較検討する。
2	機能面	<ul style="list-style-type: none"> ●撮影した写真やデータを編集するパソコンやタブレットPCに転送するのが難しいと、学級で共有しづらい。 ●記録したデータを転送した後は、簡単に本体内のデータを消去できないとデータの管理が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○データ転送方法を、自校に導入されている他の機器とそろえておく。(メモリカード経由でできるのか、専用の転送ケーブルが必要か、無線LAN経由なのか) 汎用的な方法が望ましい。 ○ライブ転送機能(無線接続によって中継したり、再生映像を転送したりする機能)が搭載されている場合、大型テレビなどにコードでつなげず、簡単に映像が見られる。
3	メモリの種類	<ul style="list-style-type: none"> ●グループで大量に写真を撮ったり、屋外に出かけて動画を撮ったりする場合、メモリの容量が一杯になると、その時点で学習が停滞してしまう。 ●校内で使っている他の機器とメモリの規格がそろっていないと、データの転送ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本体に記録できる容量や付属のメモリの種類によって活用範囲が決まる。 ○内蔵メモリがある場合は、外付けメモリを忘れても撮影をすることができる。 ○校内で利用している機器の記録媒体を統一しておくといよい。 (例) 容量による違い【最大容量】 SDカード【2GB】、SDHCカード【32GB】、SDXCカード【2TB】 形状による違い SDカード、miniSDカード、microSDカード、メモリスティック、メモリスティックPRO、メモリスティック Duo等

4	バッテリー	●利用中にバッテリー切れをおこすと、学習での利用を継続することができない。	○充電が簡単で長持ちするものを選択したい。予備のバッテリーがあるとさらに良い。 ○購入時期によって機種がかわってしまっても、同じバッテリーや充電器を利用できると便利である。
5	画面の大きさ	●画面が小さいと、児童生徒が撮影後に写真が学習に使えるかの確認が難しい。	○撮った映像が見やすいかがポイントである。録画した映像を児童生徒が確認する時に、画面が大きければ大きいほど確認しやすい。
6	表示機器との接続	●現在教室で利用されている表示機器（TV・プロジェクター等）に接続できないと、PC経由でないと提示することができない。	○HDMIケーブルで接続できると、大型TVやプロジェクターに直接接続して、撮影した写真や映像を提示することができる。
7	一緒に準備したい機器	●手ぶれの激しい映像で、見づらかったり気分が悪くなったりする。	○ビデオカメラの場合、三脚（できればキャスター付き）があると映像のぶれや、落下事故を防ぐことができる。